

障がいのある学生のための 三二講演会&個別説明会・相談会

障がい学生の受け入れが進む大学では、出口支援にも力を入れている。障がい者採用の現状は？入社後どのような支援があるの？など、当事者とその家族の不安を解消するために企業や支援団体から話を聞く就職課主催のイベントが、2月15日（土）に生田サテライトキャンパスで開催され、専大以外からも多くの学生、保護者が参加した。

障がい者の雇用は法定雇用率が年々引き上げられ有効求人倍率は6.19倍と高い。その一方で、内定率は一般学生より低い傾向にある。こうした状況を打開するためにも、「自分の障がいを明確に伝えることが重要」と『就職ウォーカー』を発行する株式会社ジェイ・ブロードの川人誠氏。イベントには支援団体のほか、障がい者雇用に積極的な企業も参加。採用担当者のほか、実際に働いている障がいのある方からの話も聞ける内容だった。

参加した交通事故により高次脳機能障害のある学生は「会社の概要がよくわかった」。また統合失調症を患ったことのある学生は「障がいに対し支援が手厚い企業があることがわかって安心した」と話す。



↑講演する株式会社ジェイ・ブロードの川人氏



↑面談ブース

障がい者の受け入れが進む中、一般学生と同様に早期化の傾向もある。就職課職員は「早く準備にとりかかるためにも、就職環境を知るきっかけになれば嬉しい」と語る。